

平成28年12月19日

九州地方整備局

＜阿蘇大橋地区の当面の進め方＞

「阿蘇大橋地区復旧技術検討会(第4回)」の結果を受け、九州地方整備局としての当面の進め方を下記に示します。

- 阿蘇大橋地区では、5月に工事に着工して7ヶ月が経過しました。この間、土留盛土工が10月に完成し、前回検討会で示した『頭部ラウンディング』についても順調に進捗し、11月10日(約2ヶ月半)に完了しました。現在は、熊本側のガリー侵食箇所の転石除去を行っているところであり、12月下旬の完了を予定しています。
- 今回の検討会では、斜面下部での有人施工着手に向けた監視体制強化や、そのための監視機器の追加設置などを審議し承認されました。
- これらの対策については、年末に実施状況を現場にて確認し、その時点で、斜面下部の安全施工に係る作業環境が整っていることを確認すれば、年明けから道路・鉄道事業の復旧に向けた次のステップに移行できると考えています。